

子どもの学び応援隊



浅利 美美 / 学校教育課 / 令和3年1月～

ミッション 内容

- 小中学校におけるICT・IoTを活用した教育の支援及び研修の実施
- 教育関係機関や企業等との連携した授業のコーディネート
- 教員のICT活用スキル向上支援
- 学びを通じた学校や地域等の魅力発信

令和5年度 主な 活動成果

- ① **デジタル・シティズンシップ教育の強化**
 - 1-1 情報リテラシー出前授業（市内小中学校24授業）
 - 1-2 教員向けの研修会講師（2回）
 - 1-3 授業資料のストック化
- ② **「伊那市ICTサマーキャンプ」の実施**

卒後

- 情報リテラシー教育の事業化
- 既存スキルと実績での地域貢献（Web制作、編集、取材など）
- 伊那市への定住



1-1 デジタル・シティズンシップ教育の強化

情報リテラシー教育領域を一任していただき、小中学校で出前授業を担当。

R5年度実績は市内5小中学校で合計24授業を実施。 **(前年度比 +14)**



- 学習用端末の扱い方
- ネットコミュニケーション
- 長時間利用対策
- 安全なパスワードの生成
- 正しいパスワードの管理
- 肖像権・著作権
- 個人情報と私らしい情報
- チャット体験
- ネット検索結果の信頼性
- フェイクニュースを見破るコツ など

授業実践をセンターからの配布物を通じて学校に周知。

R5年度はトラブル後の対策での依頼よりも、予防や教育での依頼が増加。

ICT活用教育

小学校 高学年 ICTリテラシー教育
「デジタル・シティズンへの道②」

実践事例 NO.56

発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

実践事例 NO.65

発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

パスワードマスターになろう

1人1台のICT端末とクラウドのIDを配布するタイミングで、パスワードに関する指導が必要です。パスワードとは何か、なぜ設定が必要があるのか、失くしたり忘れていたらどうなるのかなど、パスワードの概念をわかりやすくイメージできるように、児童生徒がパスワードの重要性を理解できる時間を設けましょう。伊那市地域おこし協力隊の浅利美英さんは市内の小中学校を訪問して「ICTリテラシー教育」の出前授業を行っています。

①パスワードを設定する機会がありません。実践したらどんなことが起こるかを具体的にイメージしてもらい、パスワードの重要性を伝えます。

②「9歳の男の子が車を運転して交通事故を起こしました。お母さんの力を借りて盗んで運転していたのですが、この事故の原因と思われるものを挙げてみましょう。」

③「パスワードが他人に知られてしまったらどんなことが起きるだろうか?」想像力を働かせながら、子ども同士で意見を話し合います。

パスワードマスターになるための授業を実施しましょう

児童生徒の成長段階に応じて、IDやパスワードをわかりやすく説明する工夫が必要です。パスワードは他人に教えるはならないこと、自分でしっかり管理が必要であることを、学年を問わず指導していくことが大切です。イラストや身近な例えを使うことで、児童生徒が理解しやすくなるでしょう。

推進センターでは、schoolTaktを活用してわかりやすい出前講座を実施しています。先生方もこの出前講座を実施することをおすすめします。もし支援が必要な場合は、伊那市教育委員会または推進センターまでお問い合わせください。

パスワードはなぜ必要か考えましょう

さまざまなサービスを利用する際にはアカウントが必要になります。まず、IDとパスワードについて説明した後、パスワードの管理は重要で、自分や大切な人を守ることに、パスワード活用は魔法であることを確認します。

実際にパスワードを作ってみましょう

この活動での体験をもとに推奨される実践を行います。作ったパスワードの安全性を確かめ、安全に見えておくためのメモの仕方について学びます。

パスワードは忘れないようメモしていい?

最後に「自分じゃない人がログインしたような気がする」となど不安がある時には先生や大人にすぐに相談することを確認します。

この授業に関する情報はDB内にありますのでご覧ください。

地域おこし協力隊の浅利美英さんが、手島小学校の6年生に行った出前授業の様子をもとに推進センターで編集させていただきました。

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝道的 学びを深めるICT活用

先進的 学びに導くICT活用

'Society5.0、時代の学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び 創造性を育む学びの実現

ICT活用教育

小学校 高学年 ICTリテラシー教育
「デジタル・シティズンへの道③」

実践事例 NO.65

発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

実践事例 NO.65

発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

チャットにチャレンジ

美彌小学校6年生はデジタル・シティズンシップの授業を継続的に受講しています。個人情報や肖像権、セキュリティ、長時間利用やフェイクニュースなどの具体的な事象に触れながら、「立ち止まって考える」「先生や大人に相談する」が大切だと学ぶシリーズ授業です。5回目の今回はチャットの楽しさと難しさを体験しました。「匿名」のチャットではどのようなことが起きていくのかを実験し、デジタル・シティズンとしてどのように対応すべきかを考えました。

①「匿名の投稿を便利に」「どちらの意味かと思う」とアンケート。クラスでも半々に分かれ、文字だけでなく2通りの解釈ができることを理解しました。

②「私の投稿は?」の問いにチャットで質問をして、みんなで答えを特定していきます。どのように問いかければヒントを引き出せるでしょうか。

③「学校が休みの日を新たに作る。」「何月何日?」「どうしてその日?」チャットで大喧嘩、楽しくなるとテンポが上がり、言葉遣いが乱れることも。

「匿名」でチャットを行なっていくうちに

転校生のネコちゃんが「伊那市のいいところを教えてください」と質問がきました。みんなが親切に紹介していくと、ネコちゃんが「田舎は好きじゃないんだよね」と思いやりのないメッセージを書き込みます。子どもたちは「戸惑いながらも書き込みを続けました。」「どうしてそう思うの?」と共感しながら気持ちを探ろうとする子や、嫌を言わせようとする子、言葉遣いに気を付けた方がいいと言ったり、ネコちゃんの様子に「それは言っちゃダメ」と指摘する子も出てきました。

授業後の子どもたちの感想から

- ・相手が見えなくなると自分も気が緩んでしまうのでその人を罵倒したい。
- ・自分が悪いのか、誰が悪いのかわからなくなるとどうしていいかわからなくなってしまう。
- ・匿名で投稿がやりやすいため、悪口を言いたくなる。
- ・匿名で投稿がやりやすいため、悪口を言いたくなる。
- ・匿名で投稿がやりやすいため、悪口を言いたくなる。

授業を終えて浅利さんからのアドバイス

小学校の授業でチャットを活用する機会はありませんが、高学年になるとタブレットでLINEなどを使う子も出てきます。「危険」と避けるのではなく、早い段階でチャットする練習をしておくことが大切です。チャットは楽しくなると思いがちな言葉遣いが荒くなる、言葉足らずで誤解を生むこともあります。子どもたちが自身で理解した上で活用できるように支援するのが、デジタル・シティズンシップ教育の考え方です。

地域おこし協力隊の浅利美英さんが、美彌小学校の6年生に行った出前授業の様子をもとに推進センターで編集させていただきました。

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝道的 学びを深めるICT活用

先進的 学びに導くICT活用

'Society5.0、時代の学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び 創造性を育む学びの実現



1-2 教員向け研修会の講師

8月「上伊那ICT教育研究会」、12月「東部中学校区教員研修会」で講演。

学校の先生から直接依頼をいただき、現場ニーズの高さや啓蒙の必要性を実感。

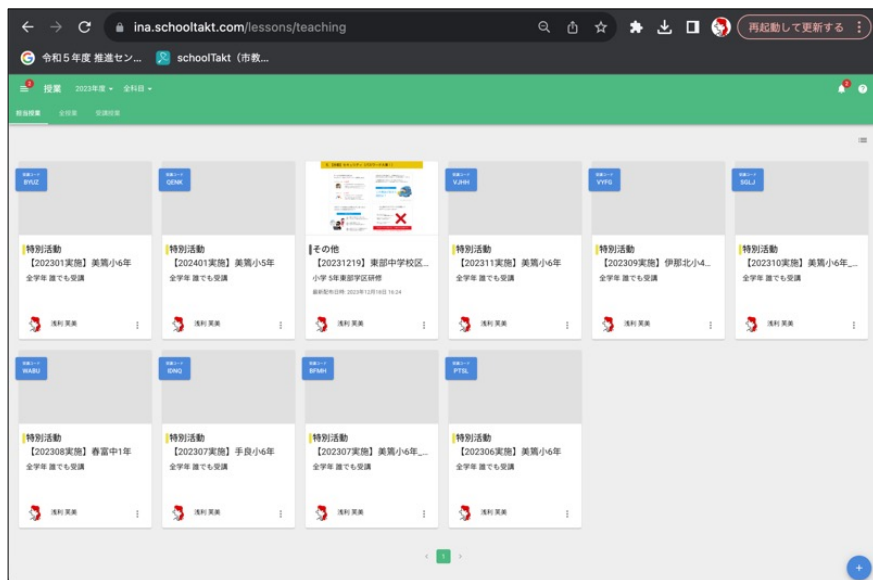
【参加した先生方からの声（一部抜粋）】

- 今日のようなお話を児童が一回は聞いておく必要があると思う。担任まかせでなく、市として必修にして、授業を行っていただくのが良いと思う。
- 実は昨年度の3学期に浅利さんに来ていただき、授業をしていただきました。ありがとうございました。いまだに生徒指導などで個人情報扱うときにあの時の授業を思い出して話しています。
- 中学生の場合、学習に必要なことだと理解していながら、それが止められないというケースが多いように感じます。個別に指導するようにしていますが、参考になる指導の方法があれば教えていただきたいと思います。



1-3 授業資料のストック化

伊那市教育委員会のスクールタクト内にオリジナル作成の課題を多数提供。



授業動画を学校で自由に使えるように配布。市役所職員の間でも視聴して活用。

3. 自分の誕生日と誕生日ではさみます

7月5日生まれの場合は「07」と「05」ではさみます。

- ① 07iehhohSinath005 (16ケタ)
- ② 070htan!Sh0he! 05 (16ケタ)
- ③ 070Sh1niud 05 (12ケタ)

パスワードを完成させよう！

誕生日	暗号にした文字列	誕生日
<input type="text" value="(((ここに入ります)))"/>	<input type="text" value="(ここに入力できます)"/>	<input type="text" value="(((ここに入ります)))"/>



② 「伊那市ICTサマーキャンプ」の実施

学校教育課（ICT活用教育推進センター）と観光課で共同のイベントをメイン担当として実行。

ICT活用教育 伊那市ICT サマーキャンプ (午前の部) 実践事例 NO.58

「地球の不思議を見つけに行こう」① 発行：伊那市教育委員会学校教育課 編集：ICT活用教育推進センター

不思議を見つけたら記録しておこう

サマーキャンプの午前の部では、地質学の研究者やジオパーク専門家、認定ガイドの皆さんと一緒に、溝口露頭や分岐峠の見学を行いました。見つけたこと、不思議だったこと、もっと知りたいことを写真や動画で記録していきます。予めKeynoteで作ったピンゴを配布しておきました。ピンゴにすることによって見学の視点がはっきりします。また、見落としが無いように子どもたちが意識することができました。

①溝口露頭の見学です。ここでは1枚目のピンゴが全て埋められます。(右ページのピンゴ参照)お題を見ながらガイドさんたくさん質問をしています。

②ピンゴに書かれたお題を見ながら撮影していきます。ピンゴになっていることで見落としがないか自分たちでチェックできていました。

③分岐峠から溝口露頭をはっきりと見ることができました。「まさかなが谷が見える」ことも不思議なことの一つとして感じています。

④溝口内公民館から北の方向の写真を撮影し「中央構造線」をマークアップで書き込んでいます。実際に写真に線を描くことでガイドさんの説明をよく理解できました。

伊那市 ICT サマーキャンプの実践をもとに推進センターで編集させていただきました

自然観察で活躍する「フィールドピンゴ」をKeynoteで

ピンゴの作り方
①写真と置き換えるためのイラストを準備します。
②必要な数の枚数にコピーします。
③出来上がったそれぞれのお題をつけて配布します。
注) 右下の「丸にプラス」マークをタップして写真を挿入します。違う写真にしたいときは必ず「戻るマーク」をタップしましょう。

Keynoteにイラストを挿入し「イメージ」で「ブレースホルダ」として設定」を選択します。必要な数の枚数にコピーします。出来上がったそれぞれのお題をつけて配布します。右下の「丸にプラス」マークをタップして写真を挿入します。違う写真にしたいときは必ず「戻るマーク」をタップしましょう。

授業での活用例

今回紹介したKeynoteを使った「ピンゴ」はイラストなどを「ブレースホルダ」として設定しています。このほかにも「イメージギャラリー」を使うと複数の写真を入れ込むこともできます。実際の授業での活用例を紹介します。

小学校低学年 国語
カタカナピンゴをしよう
カタカナを一通り学習した後で校内のいるななでカタカナを教えます。「えはんのな」「まようしのな」「きよまつしのな」「むつこうのな」「しんじんのな」「とよしのな」といったお題を準備しています。見つけたカタカナを指の位置と共有する時間を増やしていくことができます。別冊にして外国語などでも活用することができます。新入生であれば「がっこう探検」で活用することもできます。

中学校高学年 理科
化学変化と原子・分子「物質の成り立ち」
Pagesで作った理科の学習カードです。ここで、イメージギャラリーは非常に有効です。実験の結果を整理して見直すことができます。

伊那市ICT活用教育推進センター

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的 学びを深めるICT活用

先進的 学びに導くICT活用

「Society 5.0」時代の学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び 創造性を育む学びの実現

ICT活用教育 伊那市ICT サマーキャンプ (午後の部) 実践事例 NO.59

「地球の不思議を見つけに行こう」② 発行：伊那市教育委員会学校教育課 編集：ICT活用教育推進センター

見つけたことを映像にして発表しよう

サマーキャンプの午後の部では、iPadの動画作成アプリなどを使って、午前中に撮った写真や動画をもとにグループで映像作品を作りました。Numbersを使って、午前中に見つけたことをメモに書き出しながら発表する動画のストーリーを考え合いました。最後にみんなの前で発表しました。

Numbersを使って不思議に迫るストーリーを考える

Numbersはさまざまな使い方ができるアプリです。伊那市「ICT活用教育 小中学校カリキュラム」では4年生の「折れ線グラフ」での活用として位置付けられていますが、表計算機能を取りついで大きなホワイトボードとして活用することで活用範囲がさらに広がってきます。

サマーキャンプでも午前中のフィールドワークで学んだことを整理することに活用しました。ページという制限がないので左図のようにグループでの思考過程を追っていろいろな学習カードができあがります。共同編集が可能になっていますのでそれぞれの考えを反映させ、他のグループの取り組みの様子も見る事ができます。

Numbersには写真、ビデオ、オーディオ、Webビデオ、イメージギャラリーなどが挿入できます。また、插图も可能ですので幅広い活用が期待されます。

また、表計算やグラフに加えフォームでの入力も可能です。

伊那市 ICT サマーキャンプの実践をもとに推進センターで編集させていただきました

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的 学びを深めるICT活用

先進的 学びに導くICT活用

「Society 5.0」時代の学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び 創造性を育む学びの実現



協力隊4年間・卒後のロードマップ

3年目から情報リテラシー教育を本格化し、伊那市内および上伊那エリアへの貢献を目指して活動中。
任期終了後は事業化を目指し、引き続き伊那市と関わり続けたい。

1年目

調査・取材・勉強
関係づくり

2年目

・教職員のサポート
・イベントや授業の
企画提案

3年目・4年目

・ICT活用教育推進
センターの伝え手
・リテラシー出前授業
・新産業事業との連携

イマココ



卒業後

・情報リテラシー教育
・本業での貢献
・伊那市の魅力発信
・定住